

介護・医療連携推進会議開催報告書

6年 9月 25日

事業所名		定期巡回 ゆい 港北			
担当者	掛村 省吾	電話番号	045-534-5511		
1	開催日時	令和	6年	9月	25日 16:30 ~ 17:00
2	開催場所				
3	出席者	出欠			
	(1) 委員 13人	欠席		(利用者・利用者家族)	
		出席		(地域住民の代表者)	
		出席		(地域住民の代表者)	
		出席		(地域住民の代表者)	
		出席		(地域住民の代表者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
		出席		(定期巡回・随時対応型訪問介護看護について知見を有する者)	
	(2) 事務局 2人	出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)	
		出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)	
		出席		(横浜市職員、区職員、地域包括支援センター職員)	
4	活動状況報告	別紙のとおり			
5	活動状況に関する評価	<p>民生委員： 定期巡回のサービスが良く分からない。コール器ってどのようなものか。</p> <p>看護師①： 看護だけでは点でしか支えられない利用者さんを、定期のヘルパーさんと一緒に線で支えられていると感じている。今回の事例も医療・看護・家族と情報共有をしてケアをされてとても勉強になった。連携して色々細やかにケアをしていただけたので感謝している。</p> <p>看護師②： 皮膚トラブル等についてすぐに連絡いただいているので助かっています。</p>			
6	要望、助言	<p>① 歯科医師： ヒヤリハット いろいろなところに広がっている。自分も含めて、常に意識しないといけないなど実感し考えながらすごく勉強になった。</p> <p>② 医師： ヒヤリハットを出すことが大事。ヒヤリハットについて検討することも大事。もう少し真剣に取り組まないと責任問題になる。意識レベルを高めないとダメ。</p>			
7	要望、助言に対する考え方	<p>① 地域の方からサービスについて良く知らないというご意見があったが、包括・ケアマネ・訪看に対しても営業活動を通じて知ってもらおう努力を継続する。</p> <p>② 職員の事故に対する意識を高めるため、今年度9月から、職員への1対1研修で「福祉サービスにおけるリスクマネジメント」(全3回)を実施している。個々のレベルに応じた研修で職員の意識改革を目指す。</p>			
8	その他特記事項	<p>① 終末期の利用者様についての事例発表を行った。</p>			

「 定期巡回 ゆい 港北 」 活動状況報告書 (令和6年6月～令和6年8月分)

<b>1 利用者の状況</b> (令和6年8月31日現在)		21 人 (男性 8 人、女性 13 人)				
内 訳		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
		6 人	4 人	4 人	2 人	4 人
6月	利用開始	(特記事項) 平均介護度:2.7(区分変更中1名) 訪問看護利用者数:13名(全て連携での看護)利用者一覧 <利用終了内訳> 6月:ご逝去1名、生活が安定した為サービス中止1名 7月:ご逝去1名 8月:ご逝去1名				
	利用終了					
7月	利用開始					
	利用終了					
8月	利用開始					
	利用終了					
<b>2 主な活動、出来事</b>						
6 月	主治医カンファレンス(リモート開催)					
	社内定例会議(リモート開催)					
	よこはま地域ネット24 総会					
7 月	主治医カンファレンス(リモート開催)					
	社内定例会議(リモート開催)					
	市進グループ社内研修					
	高田地域ケアプラザ 高齢者虐待防止ハンドブック研修					
8 月	主治医カンファレンス(リモート開催)					
	社内定例会議(リモート開催)					
	港北区高齢ネットワーク(認知症対応ガイド検討委員会)					
<b>3 事故等の状況</b> ※事故報告2件(行政報告なし)						
①サービス漏れ 6/27午前中にサービス(胃瘻)予定だったが、15:30に本人からサービスに来ないとの連絡があった。 【原因】管理者と職員がメールでスケジュール調整を行っていたが認識のずれが生じ、お互いに確認せずれたまま当日を迎えてしまった 【対策】当日のスケジュールを個別にLINEで共有することとした。						
②FAX誤送信 7/4 15:00 送信元より、他事業者の利用者のFAXが届いたと報告を受け誤送信と発覚 【原因】名前が似ている事業所の短縮ダイヤルを押してしまった。 【対策】事業所名・電話番号を声を出して確認してから送信する。						
<b>4 コール内容</b>						
	随時対応	15回、	随時訪問	6回		
7月	随時対応	31回、	随時訪問	4回		
8月	随時対応	243回、	随時訪問	12回 ※一人の利用者随時対応220件訪問6件		
8月に認知症独居の利用者より220件のコールによる随時対応があり、内容はほとんどが不安によるもので電話口での対応となった。						
<b>5 職員の異動</b>						
なし						
なし						
<b>6 次期の主な活動予定</b>						
9 月～ 2 月	主治医カンファレンス・社内定例会議(毎月開催)等					
9 月	よこはま地域ネット24(アンガーマネジメント研修)					
10 月	横浜市社会福祉協議会(多職種連携研修)					
10 月 / 2 月	市進グループ社内研修					
2 月	自己評価、外部評価実施					
3 月	外部評価結果報告実施					
<b>7 特記事項、その他</b>						
【感染対策】						
発熱や体調不良のご利用者に対して身体介助時は換気の上、ガウン、フェースシールド、マスク、手袋を着用して引き続き対応。						
<連携訪問看護ステーション>						
・ひよこ訪問看護ステーション ・アツリハ訪問看護ステーション たかた ・YMG 訪問看護ステーション 菊名/新横浜						
・ナース24港北 ・けあくる訪問看護ステーション 新横浜 ・のぞみ(看多機併設 訪問看護ステーション)						